

PDCAチェックシート

実施年度	令和5年度																		
事務事業名	非認知能力向上事業		担当課名	教育総務課															
【Plan】計画		【Do】実施・実行	【Check】点検・評価	【Action】処置・改善															
■目的 非認知能力とは、国では主に意欲・意志・情動・社会性に関わる3つの要素（①自分の目標を目指して粘り強く取り組む、②そのためにやり方を調整し工夫する、③友達と同じ目標に向けて協力し合う。）からなると定義している。 また、学習指導要領が示す資質能力として、知識・技能、思考力等の認知能力と非認知能力は、学びに向かう力、どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送れるかに繋がることから、「やり抜く力」「自制心」「自己肯定感」「社会性」の4つの「非認知能力」が育まれるよう支援する。 ■成果指標(アウトカム・KPI) ※ 【目標値】 異年齢や地域の方との協働体験等実施 ○子ども総合教育会議 1回以上 ○とらまるみんなのカフェ運営 1回以上 ○土曜日授業 出席率の向上 80%以上 【達成値(R5実績値)】 異年齢や地域の方との協働体験等実施 ○子ども総合教育会議 1回 ○とらまるみんなのカフェ運営 1回 ○土曜日授業 出席率 65.0%		■具体的取組 ○子ども総合教育会議 市内小・中学校と三本松高校の児童生徒が、地域の方と一緒に楽しみながら協働できる体験活動など、共通のテーマについて協議する活動を実施した。 ○土曜日授業 市内3小学校で、児童の土曜日の居場所づくりとして、外部人材による体験型の活動を中心とした、幅広い内容を体験、学習できる土曜日授業を実施した。 ■インプット(投入金額等) 事業費等 ■アウトプット(数量等) 実施回数等 ○子ども総合教育会議 1回 ・市内小・中学生 25人 ・三本松高校生 14人 ○とらまるみんなのカフェ運営 1回 ・市内中学生9人、三本松高校生27人 ○土曜日授業 <table><tr><td>学校名</td><td>実施回数</td><td>出席率</td></tr><tr><td>引田小学校</td><td>10回</td><td>56.6%</td></tr><tr><td>白鳥小学校</td><td>10回</td><td>68.8%</td></tr><tr><td>大内小学校</td><td>10回</td><td>69.6%</td></tr><tr><td>平均</td><td></td><td>65.0%</td></tr></table>	学校名	実施回数	出席率	引田小学校	10回	56.6%	白鳥小学校	10回	68.8%	大内小学校	10回	69.6%	平均		65.0%	■成果指標の具体的検証結果 (インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載) ○子ども総合教育会議 市内小・中学校から児童生徒25人、三本松高校から生徒14人が参加。三高みんなの食堂プロジェクトのみなさんからの活動発表後、4グループに別れ、高校生がファシリテーター役となり、「私たちの学校ワクワクチャレンジ」をテーマとして協議を行い、最後に各グループ代表からの発表で協議結果を共有した。 ○とらまるみんなのカフェ運営 子ども総合教育会議で提案のあった、地域の方と一緒に楽しみながら協働する体験活動として、三高みんなの食堂に携わっている生徒が中心となって、中学生と一緒に、とらまるみんなのカフェの運営を行った。 ○教育の大綱子ども解説版作成 子どもたちに教育の大綱の内容を分かりやすく伝えるため、中学生のリーダーが考えた「教育の大綱子ども解説版」を作成した。 ○土曜日授業 各小学校の全学年を対象として、各校年間10回ずつ実施した。全3校の参加登録者数の割合は65.6%、出席率は65.0%であった。 引き続き、大学や高校等との連携による学習、地域ボランティアによる体験活動や創作活動、各種団体による学習会など、外部人材による体験型の活動を中心に授業を実施し、幅広い内容の活動を体験、学習することができた。また、YouTuberによるキャリア教育やギター教室、タブレットを活用した写真教室など、貴重な体験を通して、普段できないような内容の学習をすることができた。	■検証結果を受けての具体的対応 ○子ども総合教育会議、とらまるみんなのカフェ運営 東かがわ市及び東かがわ市教育委員会と三本松高校との包括連携に関する協定により、市立小中学校の児童生徒だけでなく、三本松高校の生徒と交流・協働を意識したテーマで協議を行い、子どもの夢の実現や主体的な協働活動に繋がる活動ができるよう支援する。 ○土曜日授業 引き続き、鳴門教育大学、三本松高校、スポーツ推進員等関係機関と連携を図りながら、家庭や地域・学校が連携して子どもたちの教育に参画できるような取組を推進していく。 また、活動内容を見直し、地域ボランティア等の外部講師を主体として、児童が楽しみながら学習できるような魅力のある活動を展開していく。
学校名	実施回数	出席率																	
引田小学校	10回	56.6%																	
白鳥小学校	10回	68.8%																	
大内小学校	10回	69.6%																	
平均		65.0%																	

※KPI…重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標（数値）をいう。